

月刊 熱血介護！

いつもお世話になっております。

「月刊熱血介護！」は、当ホームの活動内容や介護現場での成果、認知症に関するお役立ち情報などを発信していきます。是非、ご覧くださいませ。

認知症の人におすすめ、過去を振り返らない声かけ！

謹んで新年をお祝い申し上げます。本年も変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ致します。

今日は、認知症の方に対する適切な関わり方についてご紹介します。
「私のこと分かる？」 「**ご飯美味しかったですか？**」・・・**」**家族や介護職員が頻繁に認知症の方にかける言葉の一つです。皆さんはこの言葉をどう捉えますか？

私は以前、重度の認知症で短期記憶障害がある方に對して何気なく「お風呂気持良かつたですか？さっぱりしましたね！」と声をかけてしまい、「お風呂なんか入つてないよ！」と怒らせてしまった経験があります。つまり、短期記憶障害がある認知症の方には記憶にない、過去を振り返る声かけをすることで不安や怒りを抱かせてしまつたケースです。

自分としては良心的にかけたつもりの声かけでも、それが認知症のBPSD（行動・心理症状）に繋がり、介護者の負担になります。時にはその不適切な関わりにより、自宅に帰つてから認知症の症状が悪化し、ご家族が困つてしまふ状況になるかもしれません。

【良い例】

「もうすぐお昼になりますね。」

「4月になつたらお花見に行きましょうね。」

「小さい頃はなにをして遊んでいましたか？」

【悪い例】

「息子さんの名前は何ですか？」

「朝ご飯は何を食べましたか？」

「デイサービスには何曜日に来ているんですか？」



デイホーム 照和

熱血介護（スタッフ BLOG）

株式会社 照和

検索

作成者：高橋 良